

## 【単年度事業評価様式】

**青葉区地域子育て支援拠点事業**  
**令和6年度重点目標評価結果・令和7年度重点目標**

事業実施期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日(4年度目／5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブパレット 青葉区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 青葉区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営</li> <li>2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に関わった運営</li> <li>3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営</li> <li>4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営</li> <li>5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営</li> <li>6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営</li> </ol>
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業)</li> <li>2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業)</li> <li>3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業)</li> <li>4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業)</li> <li>5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業)</li> <li>6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業)</li> <li>7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)</li> </ol>
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。</li> <li>2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。</li> </ol>

## 令和6年度重点目標の評価

令和6年度重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 親子の居場所事業 多様な養育者と子ども(年代・国籍等)が訪れる親子の居場所をつくる。</li> <li>2 支援者ネットワーク事業 地域の子育て支援活動を活性化するためのネットワークを構築・推進し、拠点利用者を地域へつないでいく。</li> <li>3 人材育成、活動支援事業 広く市民に対して、子育て家庭を温かく見守る地域全体での雰囲気づくりに取り組む。</li> </ol>
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 親子の居場所事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・養育者が来所しやすい企画の開催</li> <li>・ひろばの環境整備の実施</li> <li>・多様な養育者と子どもの来所のきっかけになるような周知の方法、内容の検討</li> </ul> </li> <li>2 支援者ネットワーク事業 地区別ネットワーク連絡会の事務局として、地域ケアプラザと共に地区別ネットワーク連絡会を運営する。</li> <li>3 人材育成 地域全体で子育てを応援する機運を高めることの必要性、重要性を多様な世代に向けて広報できる機会を作る。</li> </ol>

取組の成果	<p>1 親子の居場所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての人が参加しやすい企画や利用者が望むテーマを踏まえた企画を実施することで、継続利用のきっかけになるよう取り組んだ。また、利用者が主体的に取り組めるような仕組みづくりに取り組んだ。</li> <li>・多様な養育者と子ども(外国籍の方、多胎児がいる家庭など)が来所しやすいように、多様な開催日時により参加の機会を増やし、掲示や表示の仕方を工夫したことによる雰囲気づくりなどを実施した。</li> <li>・区役所で実施している妊婦向けのハローベビークラスの参加者に拠点を案内・紹介し、妊娠中から拠点を知ってもらうことで、出産後も継続して利用してもらえるようになった。</li> </ul> <p>2 支援者ネットワーク事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点が全地区の連絡会に参加することで関係機関とのつながりをより深めることができ、各地区の課題を把握し、課題解消に向けて取り組むことができた。</li> <li>・様々な会議や機関で拠点の機能を紹介することで、情報収集、情報提供するとともに、相談にもつながった。</li> </ul> <p>3 人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援に携わる人を増やすため、ラフルホームページやチラシの配布など様々な媒体による情報発信を行った。また、区役所での健康フェスティバルや青葉台東急における情報発信日の開催などの機会を通じて、拠点の機能の紹介を行った。</li> <li>・支援者向け研修会を来所、オンラインなどハイブリッドにて実施した。</li> </ul> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサポートシステムの活動を広めるため、拠点外でも説明会を実施し、提供会員の増加を図ることができた。</li> </ul>
取組の課題	<p>1 親子の居場所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な利用者が過ごしやすいひろばを作るため、年長児や活発な子どもたちが快適に過ごせる企画を検討する必要がある。</li> <li>・多言語・多国籍の利用者がより快適に利用できるような企画を検討する必要がある。</li> <li>・利用者が少なかった企画の方向性について、再度検討する必要がある。</li> </ul> <p>2 支援者ネットワーク事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別ネットワーク連絡会により抽出した地域課題の解決に向け、参加団体を広げるなど、さらなる活性化を図る必要がある。</li> <li>・より効果的な出張ラフル実施に向け、開催場所等を検討する必要がある。</li> <li>・サークル支援について、区と拠点との役割や関わり方について検討する必要がある。</li> </ul> <p>3 人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろばの利用者が、ボランティアやサポーターとしてどのように拠点の企画に参加できるかを検討する必要がある。</li> </ul>

## 次年度重点目標

令和7年度 重点目標	<p>1 親子の居場所事業 多様な養育者と子どもが訪れ交流し、養育者が主体的に過ごせる居場所を実現する。</p> <p>2 支援者ネットワーク事業 これまで構築してきた地域の子育て支援者ネットワークをより活性化し、情報収集・提供機能をさらに活用して親子を地域へつないでいく。</p> <p>3 情報収集・提供事業 養育者が手に入れやすい、目につきやすい様々な媒体を通じて、子育て支援情報を提供する。</p> <p>4 人材育成・活動支援事業 広く市民に対して、子育て家庭を温かく見守る地域全体での雰囲気づくりに取り組む。</p>
取組内容	<p>1 親子の居場所事業 ・多様な養育者と子どもとが安心して来所できる雰囲気づくりや企画の実施、環境整備を行う。 ・養育者が交流し主体的にひろば運営へ関わられるよう、スタッフひとりひとりが意識を高め、そのための仕組みづくりを行う。 ・多様な養育者と子どもの来所のきっかけになるような周知の方法、内容の検討を行う。 ・多くの転入者が見込まれる地域において、「金曜日はふらっとラフールたちばな台」を開催することで、多様な養育者が利用できる機会をつくる。</p> <p>2 支援者ネットワーク事業 ・地域の支援者が他の団体の活動を理解し共有できる機会を設けるとともに、拠点が集めた情報を活用し親子を地域へつなぐことができるよう、地区別子育て支援ネットワーク連絡会を運営する。</p> <p>3 情報収集・提供事業 ・情報発信について、Aonicoから拠点のホームページへの移行を円滑に行うとともに、利用者の活用につながるような広報を実施する。あわせて、パマトコやWEB版子育て情報の周知、ワクワクマップの更新に取り組む。 ・おでかけラフール開催を通して、地域の支援者とのつながりをつくるとともに、拠点機能の周知や拠点から離れた地域の養育者の声の収集を実施する。</p> <p>4 人材育成 ・地域全体で子育てを応援する機運を高めるために、多様な世代に向けて子育て支援の必要性を周知するとともに、積極的な参加につながる企画を実施する。</p>